

今週のひと

首都圏や福岡でテナント専門の信用保証事業を手掛ける日本商業不動産保証（東京都港区）の豊岡順也社長に話を聞いた。



日本商業不動産保証
 (東京都港区)
 豊岡順也社長(41)

ベンチャー企業支援で管理会社とのパートナーシップ構築

プロフィール

1973年9月7日生まれ。東京都出身。現在は東京都港区在住。

証券業界に飛び込むも父が倒れて家業を引き継ぐ

大学卒業、国際証券（現 三菱UFJモルガンスタンレー証券）に入社。国内の営業店舗に配属され、主に富裕層向けの営業に従事する。しかし、父が倒れたために家業の物販販売会社を引き継ぐために同社を退社した。

社内起業で立ち上げた会社をMBOで取得

2年後に再び証券業界に舞い戻り、新たに入社した会社では株式公開引受業務に従事。社内アントレプレナーとして企業財務情報・コンサルティングの会社を立ち上げ、代表取締役就任。同社をMBOで取得した後、2011年9月16日にフィンシャルギャランティ（現 日本商業不動産保証）を設立する。

眠った保証金を有効活用し経済を活性化

テナント専門の信用保証業務を手掛けるために同社を立ち上げた豊岡社長。最大の狙いは、テナントがオーナーに保証金として預ける資金を有効活用させ、日本経済を活性化させること。

「オフィスを構えるには、一般的に月額賃料の10～12か月分の保証金を、オーナーに預けなければなりません。このお金は活用されることなく、退去するまで眠った状態になります。これは非常にもったいないことです。テナントがこのお金をもっと有効活用することができれば、新たな投資や消費が生まれ、日本の経済はもっと活性化するはずですよ。」

そこで開発したのが、保証金を半額にするサービス「保証金半額くん」だ。テナントがオーナーに払う保証金の半分相当を、日本商業不動産保証が保証するというもの。テナントは手元に資金が残るため、商品開発や事業拡大への投資が可能になる。

「今後は、マンションの1室で起業したベンチャー企業の移転を支援していくつもりです。当社の商品を利用してもらえば、より広いオフィスに移ることもできます」